

# 5月号パラパニュース

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟

事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2-4F

電話：03-6229-5423、FAX：03-6229-5420

メール：jppf.jimu@gmail.com

ホームページ：http://jppf.jp/

## 全国の非常事態宣言解除後の練習場所

ご存じの通り、日本財団パラアリーナがコロナ患者の病床となってしまったため、関東の選手で日常の練習場所をなくした方がおられると思います。そこで、JPPF 特別練習環境整備として、希望者にはパワーハウスでトレーニングしていただける環境を作りました。健常者の練習時間とは重ならないように組みましたので、密になることなく、練習できると思います。

練習を希望される場合は、ご参加ください。今の所、緊急事態宣言が明ける6/1頃から使っていただけたらと整備を急いでいます。また、茨城県つくば市の、瀬尾桂一コーチの所でも、練習できるとのことですので、お問い合わせください。



JPPF 特別練習時間 月； 11時～14時  
(コーチ；吉田寿子、荒川龍一)  
水； 17時～20時  
(コーチ；吉田進、吉田寿子、荒川龍一)  
土； 11時～14時  
(コーチ；吉田進、吉田寿子、荒川龍一)

JPPF 特別練習時間参加費； 1回 1500円/一人

このJPPF 特別練習は、パラアリーナがパラアスリートの為に復活したとき、東京都がパラアスリートの専用トレーニング場を設けたときは、JPPF 特別練習を中止と致します。今回は、関東地区選手が練習できる環境を作る為の緊急措置です。

パワーハウス；住所 東京都調布市飛田給 1-28-7

電話 042-444-5787

駐車場 あり

アクセス；京王線新宿駅より調布(特急、準特急)へ15分。乗り換えて2駅目の飛田給下車、味の素スタジアム方面徒歩3分。

瀬尾桂一コーチの連絡先；090-2531-0204

### 新型コロナ拡大パラ・パワーリフティング選手

#### 練習場所がない



#### 城陽の施設閉鎖「家で補助運動」

城陽市の施設が閉鎖されたため、選手たちは家で補助運動を行っています。記事は、選手たちの現状と対策について詳しく述べています。

2020年4月9日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

5月14日付

# 東京パラ延期は 成長期間の延長

思いもよらない非常事態宣言で、自宅や会社にトレーニング場を持たない選手のほとんどは、この2カ月全く練習できていない状況が続いていると思います。ダンベルや、大体器具で、トレーニングをしている人が多いですが、逆に東京パラの延期をチャンスととらえている選手も少なからずいます。怪我をして、もう少し回復に時間を欲しいと思っている選手、伸び盛りで、もう少し、成長したいと思っている選手。

WPPOでは、ウェブ競技会を開催したり、記録挑戦会を開催したり、新しい試みも始まっています。

既に東京パラピックへの道を満たしている選手は、11/1～来年の6/27までに、あと一回以上国際試合に出て、東京パラランキングを上げるチャンスがあります。

じつと自宅にこもっている選手も、テレワークで忙しい選手も、練習を予定通りできている選手も、引き続き、1年4か月後の東京パラリンピックを見据えて、進ん

# 京都の活動

### 民生児童協にマスク

NPO、障がい者付障害者ら手作り  
新型コロナウイルス 城陽市役所で備わっているマスクが不足していることを受け、城陽市のNPO法人「京都スポーツ・障がい者スポーツ推進協会」が、市民生活委員協議会に協賛して、手作りの布マスク350枚を同会に提供し、障がい者や高齢者が、自分自身でできることがしたいと考えて作った。

市内の精神障害者らが布のゴムのを使って手作りしたマスクを、同スポーツ推進協会の会員が買い取った。

市民生活委員協議会  
民生児童協に手作りの布マスクを贈呈する  
障がい者や高齢者が、自分自身でできることがしたいと考えて作った。

150枚が市身体障害者協会や市障がい者協会に配布される。

田島会長に手作りの布マスクを呈する城陽常務理事(右)―城陽市役所

パラパワーリフティングを興興する西崎西崎員＝大阪市

## 「成長期間延びた」と歓迎

### パワーL階級変更の西崎

#### 東京パラの話題

東京パラリンピックの1年延期に際して、むしろ歓迎する選手が多い。パワーリフティング男子の西崎選手も、オランダ大会は54歳にして東京大会は59歳になる。西崎選手は、この延期を「成長期間の延長」と歓迎している。西崎選手は、この延期を「成長期間の延長」と歓迎している。西崎選手は、この延期を「成長期間の延長」と歓迎している。

西崎選手は、この延期を「成長期間の延長」と歓迎している。西崎選手は、この延期を「成長期間の延長」と歓迎している。西崎選手は、この延期を「成長期間の延長」と歓迎している。

パラ・パワーリフティングの京都 NTC も、非常事態宣言で閉鎖、合宿所では、いつもお世話になっている、京都スポーツ障がい者スポーツ推進協会が手作りのマスクを贈呈、多くの方々が感謝しておられた。

### 民生委員らに手作りマスク

心温まる厚意に感謝

贈付金早く、かつてない

民生委員らに手作りの布マスクを贈呈する  
障がい者や高齢者が、自分自身でできることがしたいと考えて作った。